

「ぼうっ」として集中し続けることが難しい

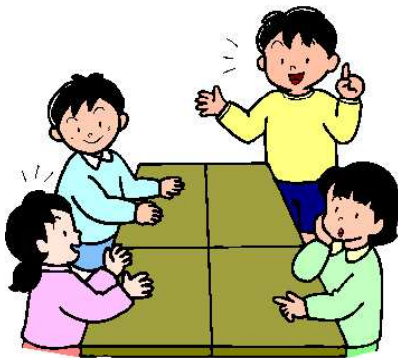
ある教室の中で・・・

A君は授業中に「ぼうっ」としていることがあり、担任の先生によく注意されます。また、一つのことに集中し続けることが難しく、授業もすぐに飽きてしまいます。一つの課題に取り組んでいられるのは、10分程度で興味が次々に移ってしまいます。



どうしてだろう？

- 課題を理解していない？
- 授業の見通しが見えない？
- 刺激の影響を受けやすく他のことに気をとられている？
(担任の先生はどんなタイプかな？)
- 話が長く、児童への指示が不明確？
- 声が小さく早口？
- 一方的な説明中心で児童の活動場面が少ない？
- 黒板や教室の前面に余計な掲示物が盛りだくさん？



今日からできる一工夫

- ① 教室の前面や黒板はすっきりとシンプルにして見やすくする。
- ② ゆっくり短い言葉で明確に話す。
- ③ 指示したことを児童が確認する時間をつくる。
- ④ 学習内容を事前に伝え、行動の仕方を絵や文などで具体的に示す。
- ⑤ 児童同士の話し合い活動や作業場面を設定する。

◎ 集中することが難しい子どもに特別な対応を考えるというよりも、どの児童にとってもよりよい支援や環境づくりについて、授業の中でほんの少し工夫するだけで、子どもたち一人一人が活動する意欲を持つことができるかも知れません。まずは、一つだけやってみましょう！